

議会だより 吉野ヶ里

33号

平成26年
12月定例会

あけまして
おめでとうございませう

平成27年の輝かしい日の出(横田地区より)

- 議長 年頭のあいさつ・議会改革 2
- 12月定例会 3
- 議案賛否状況 4
- 一般質問 5-12
- 意見書 13
- 委員会研修報告・編集後記 14



議員が編集した
手づくりの議会だよりです

【編集・発行】

佐賀県吉野ヶ里町議会

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321-2
TEL 0952-37-0338

【印刷】ビッグサムティ&ビー【発行年月日】平成27年1月29日

議会会議録がインターネットで見られます。

吉野ヶ里町のホームページ <http://www.town.yoshinogari.saga.jp/>
にアクセスし「吉野ヶ里町議会」「吉野ヶ里町議会会議録」をクリックしてください。

人口増加の町づくりを推進



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。吉野ヶ里町議会を代表いたしまして、新年のご挨拶を申し上げます。

さて、平成26年4月、新議会がスタートし早くも8ヶ月が経過いたしました。衆議院の解散選挙、県知事選挙など町民の皆様には変革の年でありました。

議会では、町の未来の宝、子育て支援・子供の教育・学校環境の整備など、住民福祉と住民の立場に立った行政サービスが町民にいち早く届くよう今年も町民の福祉向上に努めてまいります。

また今年2月より、議会改革の一つとして、きらら館、中央公民館にて議会報告会の計画をしております。

全国的に人口が減少する中に、住みたい町、住んで良かったと思える人口増の町づくりを推進します。総合文化センター建設などの五ヶ山ダム関連事業・国・県等の事業に議員も参画し、併せて我が町の地方創生事業の推進も図りたいと考えています。

町民みなさまにも、本年が飛躍の年となりますように心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

吉野ヶ里町議会議長

伊東 健 吾



吉野ヶ里町議会活動調査（議会改革）特別委員会設置を4月22日の議会において決議。
10月17日、11月21日に協議を行い、12月18日に議会報告会の開催を決定。

2月12・13日 議会報告会 を 実 施

内訳

議会改革の経過報告
9月議会の報告
12月議会の報告
その他
2会場において開催いたします。

●開催日・場所

平成27年2月12日（木）

「きらら館」

●開催時間

19時～20時30分

●開催日・場所

平成27年2月13日（金）

「中央公民館」

●開催時間

19時～20時30分

町民の皆様のご出席を心よりお待ちしております。尚、議会報告会終了後、アンケート調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

平成26年第4回 12月定例会

第4回定例会は、12月4日から12日までの9日間の会期で開催された。

今議会に提案された議案（承認議案2件、条例議案5件、契約1件、規約変更1件、補正予算4件、意見書2件、その他2件）の17議案を審議、10人が一般質問を行った。

条例の改正など

○町長等特別職の給与に関する条例の一部改正

注釈 今年出された人事院の勧告にかんがみ、特別職に対して支給する手当の率の改定である。

○町職員の給与に関する条例の一部改正

注釈 人事院の勧告にかんがみ、給与や手当等を改正する条例である。

○町の証明等手数料条例の一部改正

注釈 印鑑登録証の再交付に係る手数料徴収対象者に、自己都合により登録と廃止を繰り返す者等を新たに徴収対象者と改正する条例である。

○公共下水道管渠布設工事請負の契約締結

注釈 前川地区農業集落排水の汚水を公共下水道管に継ぐため、前川処理場から新宮田までの管渠増設工事である。

○国民健康保険条例の一部改正

注釈 出産育児一時金の金額を39万円から40万4千円に改正する。



前川処理場

補正予算

○一般会計（第6号）

歳入歳出それぞれ7152万円を追加し、歳入歳出予算の総額が75億5562万6千円となった。

◆歳入の主なもの

- ・土木国庫負担金 橋梁補修に係る社会資本整備総合交付金。440万円
- ・総務費 県委託託金 知事・県議選挙委託金 712万5千円
- ・不動産売却収入 用途廃止した法定外公共物水路等の土地売却金 210万4千円
- ・財政調整基金繰入金 1671万7千円
- ・水源地域振興基金繰入金 1190万円

◆歳出の主なもの

- ・知事・人事院勧告に伴い職員給与、手当等の改定が行われ、人件費の増となった。
- ・総務費 知事の退職に伴い知事と県議会議員の選挙が別になり組替えとなった。 県知事選 754万円 県議員選 308万円
- ・民生費 (障害者福祉費) 障害者通所支援事業費と障害者福祉サービス費の増による。 930万円
- ・高齢者福祉費 (高年齢者福祉費) 25年度後期高齢者医療給付費の精算金。 564万円
- ・衛生費 (母子衛生費) 子ども医療費の助成基金積立金の増額 380万円
- ・農林費 (水源地域振興林道費) 林道全ノ瀬線の改良工事費。 1400万円

・商工費

- (温浴施設管理費) 浴場等の修繕費 120万円
- ・土木費 (道路新設改良費) 在川橋等の橋梁のひび割れ、防水補修工事 800万円
- (住宅管理費) 住宅家賃調整補助金の返還金 235万6千円
- ・教育費 (中学校管理費) 東脊振中学校グラウンド整備2期工事。 868万6千円
- 国民健康保険特別会計 338万2千円を追加し、総額17億4167万9千円となった。
- 下水道特別会計 24万4千円を追加し、総額9億9059万1千円となった。
- 後期高齢者医療特別会計 1万9千円を追加し、総額1億6289万9千円となった。

問 認知症に対する取り組みはどのようなのか。
答 福祉課長 一次予防事業・パンフレット配布や訪問活動、介護予防講演会、物忘れ相談会、認知症予防教室、ますます元氣塾、二次予防事業・65歳以上の高齢者に基本チェックリストの実施、いきいき健康クラブ、歯つびい教室、包括的支援事業・総合相談業務、権利擁護業務、家族介護教室・介護者のつどい、福祉講座、認知症高齢者見守り事業・ネットワークづくり、家族介護者交流事業・リフレッシュ旅行、成年後見制度

問 利用支援事業を行っている。
答 福祉課長 認知症の予防活動は長期

問 多くの事業の取り組みに対する効果はどうか。
答 福祉課長 認知症の予防活動は長期

吉野ヶ里町における高齢化率と認知症の現状

	全人口A	65歳以上B	高齢化率A/B	認知症	内65歳以上C	認知症率B/C
H23.3末	16,165	3,207	19.84	535	523	16.31
H24.3末	16,154	3,242	20.04	554	548	17.09
H25.3末	16,171	3,348	20.70	603	592	17.68
H26.3末	16,238	3,447	21.41	640	628	18.06

問 認知症サポーターの取り組みは、福祉協議会の認知症見守り隊の登録者100名、サポーター養成講座に民生・児童委員、老人クラブ役員などに対して実施している。
答 福祉課長 町社会福祉協議会の認知症見守り隊の登録者100名、サポーター養成講座に民生・児童委員、老人クラブ役員などに対して実施している。

問 これからの認知症対策は。
答 福祉課長 充実項目として①認知症

問 公共施設（建物）の数と建築費用の合計は。
答 財政課長 43の建物で建築費用は土地代含まず184億3900万円となっております。

問 施設の建設時期や利用状況、管理経費など整理、算出し一元管理するため「公共施設白書」の策定はどうか。
答 財政課長 総合計画を立てる中で、白書として住民に公開することは大きな意味がある。



古くなった町民集会所

【福祉課長】平成26年3月末で640人が「認知症」患者



古川 勲 議員

「認知症」に対する取り組みは

問 サポーター制度②権利擁護③成年後見人利用支援事業を行うことについて。
答 副町長 職員に認知症サポーター養成講座を開催し窓口で対応できるようにしたい。

問 町長 公共施設の実態、今後の改善・統合を考えた住民に判断してもらうためにも白書は必要と考える。
答 町長 現在まで行っていることについて質問した。

町政へもの申す 次頁から「一般質問に9人が激論

10月臨時会 12月定例会 案件賛否状況

案件名	10月臨時会													第4回(12月)定例会												
	可決	承認	可決	承認	可決	承認	可決	承認	可決	承認	可決	承認	可決	承認	可決	承認	可決	承認	可決	承認	可決	承認	可決	承認		
農業の持続的発展等に向けた農政重要課題に関する意見書																										
「手話言語法」制定を求める意見書																										
損害賠償の額の決定及び和解について																										
吉野ヶ里町吉野ヶ里公園駅コミュニティホールの指定管理者の指定について																										
平成二十六年吉野ヶ里町後期高齢者医療特別会計補正予算(第二号)																										
平成二十六年吉野ヶ里町下水道特別会計補正予算(第三号)																										
平成二十六年吉野ヶ里町下水道特別会計補正予算(第三号)																										
平成二十六年吉野ヶ里町一般会計補正予算(第六号)																										
佐賀県市町総合事務組合規約の変更に係る協議について																										
前川汚水幹線公共下水道管渠布設工事請負契約の締結について																										
吉野ヶ里町国民健康保険条例の一部を改正する条例																										
吉野ヶ里町ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例																										
吉野ヶ里町職員等手数料条例の一部を改正する条例																										
町長及び副町長の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例																										
専決処分承認を求めることについて【平成二十六年吉野ヶ里町一般会計補正予算(第五号)】																										
専決処分承認を求めることについて【平成二十六年吉野ヶ里町一般会計補正予算(第四号)】																										
平成二十六年度町道大曲・上石動線道路改良工事請負契約の締結について																										
平成二十五年年度繰越東脊温泉山茶花の湯2期工事請負契約の締結について																										
平成二十六年度小型動力ポンプ付積載車購入業務契約の締結について																										

※議席番号順 ○=賛成 ●=反対 欠=欠席 —=議長は議決に加わらない



馬場茂 議員

文化センターだったのが なぜ社会体育館か

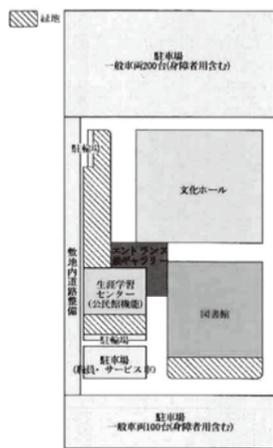
【町長】大きな文化ホールは如何なものか

問 選挙公約「総合文化センターは抜本的に見直す」には、建設の是非はなかったのか。

答 町長 考えを訴える中で、大きな建物は要らない。この町の身の丈にあった施設をと言ってきたので、まったくゼロではなかったと思うている。

700、800席もの建物がこの町の文化活動の利用に如何なものか。「ふれあい館」や「きらら館」の音響や照明等の機械設備を充実すれば町民に伝えていけるのではないかと、それと大きなホールは隣の市町と共用していい。

問 文化センター
文化センター
文化センター
文化センター



最初は文化センターだった

しかし体育施設は、先月のバレーボール大会や町の大会等で本格的な会場が無い上、分散してやらなければ出来ない現状である。

問 建設場所はアンケート調査の民意を無視するのか。

答 町長 アンケートはA地区に誘導するような内容だった。きちんとした町づくり計画を考えた中で場所を決めべきだ。

町観光協会の設立は

問 現在どのように進んでいるのか。

答 町長 現在、観光課長、現時点では具体的な構想には至っていない。

問 建設場所はアンケート調査の民意を無視するのか。

答 町長 アンケートはA地区に誘導するような内容だった。きちんとした町づくり計画を考えた中で場所を決めべきだ。

問 9月定例会で取り下げられた教育委員の選任は、同じ人物をまた出されるのか。

答 町長 結論から申し上げると、平野氏より教育委員への推薦を辞退したいとの申し出があった。「再度提案する事はない」。

問 今の状態がこれだけ長く続いた。

答 町長 協議を行ない、スケジュールを立てていく。385号の柳川市附近の改良工事は、27年度完了予定である。河原橋から南部ライオンセンターの間は、28年度完了予定である。



あるじ不在の教育長室



古川輝英 議員

庁舎統合の考えはないか

【町長】両庁舎の経費を考え統合の方向にある

問 マニフェストに「一体感を持つ吉野ヶ里町を目指す」とあるが、三田川庁舎と東脊振庁舎を統合し新庁舎を建設する考えはないか。

答 町長 平成28・29年度で新庁舎や他の公共施設のあり方については、具体的にないものとして理解している。

問 町長は、任期中に第2次吉野ヶ里町総合計画を策定しなければならぬ。

答 町長 現況では、町長が言う住民サービスの低下であり、実施には庁舎統合を掲げる必要がある。次期総合計画に掲げるべきでないか。

問 町長、いつか統合しななければならないことは、認識している。

答 町長 自分としては、統合についての文言を入れていきたい。

問 中学校の統合について、三田川中学校3年生が、まちづくりの中で、2校を統合することで、旧町村の地元

問 町長、子ども達も町の将来を考えていると感じた。

答 町長 統合の方向で、理解しているが、総合計画に掲げることが、明言できない。

国・県道の計画は

問 国道34号の駅前交差点改良と国道385号の改良の現況は。

答 建設課長 駅前交差点改良は、国と

問 町長、協議しながら要望している。

答 町長 協議は終了しており、実施の要望を行うべきである。上石動地区内の県道改良の現況は。

問 公共施設等総合管理計画を28年度までに策定する指導があり、施設の見直しが必要である。

答 町長 その後、両庁舎の経費を考えると統合の方向にあると考える。

問 中学校の統合について、三田川中学校3年生が、まちづくりの中で、2校を統合することで、旧町村の地元

問 町長、協議しながら要望している。

答 町長 協議は終了しており、実施の要望を行うべきである。上石動地区内の県道改良の現況は。

問 町長、協議しながら要望している。

答 町長 協議は終了しており、実施の要望を行うべきである。上石動地区内の県道改良の現況は。

問 町長、協議しながら要望している。

答 町長 協議は終了しており、実施の要望を行うべきである。上石動地区内の県道改良の現況は。

問 マニフェストに「一体感を持つ吉野ヶ里町を目指す」とあるが、三田川庁舎と東脊振庁舎を統合し新庁舎を建設する考えはないか。

答 町長 平成28・29年度で新庁舎や他の公共施設のあり方については、具体的にないものとして理解している。

問 町長は、任期中に第2次吉野ヶ里町総合計画を策定しなければならぬ。

答 町長 現況では、町長が言う住民サービスの低下であり、実施には庁舎統合を掲げる必要がある。次期総合計画に掲げるべきでないか。

問 町長、いつか統合しななければならないことは、認識している。

答 町長 自分としては、統合についての文言を入れていきたい。

問 町長、協議しながら要望している。

答 町長 協議は終了しており、実施の要望を行うべきである。上石動地区内の県道改良の現況は。

問 町長、協議しながら要望している。

答 町長 協議は終了しており、実施の要望を行うべきである。上石動地区内の県道改良の現況は。



三田川庁舎



東脊振庁舎



森田浩文 議員

未来を見据えた公共施設 これからの町づくりは

「町長」総合計画に沿って考える

問 今後、年々若手が半減していく一方中高年齢層が増え高齢者中心の自治体となる本町。将来の人口推移を見据え中学校や庁舎の統合化等コンパクトな町づくりを目指す必要がある。町の拠点を何処と見定め計画していくのか。

答 町長 東脊振庁舎高速道周辺は企業誘致と雇用の場と考える。三田川庁舎、駅周辺は生活拠点とした町づくりを考えている。総合計画に沿って駅及び遺跡公園一帯を開発可能区域と考える。

問 必要となるが、民間意識では足りない認識。今後、町営住宅の増設や宅地の開発はごうするか。

答 建設課長 町営住宅戸数は県内でも上位であり不足は無い。宅地開発は民間が行うものであり介入はしない。但し過去の区画整理事業や農地転用が可能な場所を探り可能性を模索したい。

問 農林課長 農振除外手続には半年から一年以上の時間を要し手続きも複雑。公益性の高い事業には町の振興条例で農振除外も可能。特区を適用させるには大変な労力と時間を伴う。

答 町長 今後の活性化手法を明確にした上でこれからの町づくりの方向性を決めたい。

問 町長 今後の活性化はリノベーションによる等用途変更し手を加え新しい活用が見出せる。東脊振庁舎周辺に社会体育館建設を予定す

答 町長 ダム資金を源としては18億程度しか望めない。吉野ヶ里杯等のバレーボール大会もあるの

問 町長 公共施設の在り方検討委員会を活用し、28年度までに総合管理計画を策定予定。

答 町長 次の、総合計画の中でスポーツ施設のあり方を十分検討するべきである。

活性化が期待される駅北口



筒井佐千生 議員

東脊振中学校体育館 建て替えは

「町長」しばらくの間、両方あっていいと考える

問 町長選挙公約の一つ、仮称総合文化センターの抜本的な見直しをするに掲げられ、11月21日の全員協議において、複合施設でない仮称吉野ヶ里町社会体育館建設構想が出されたが、本町の施設を活用している、スポーツクラブの実態について報告を。

答 社会教育課長 本町内体育施設、両中学校体育館・グラウンド、丸山球場、中央公園及び多目的グラウンド、両武道館、農村環境改善センター大ホール等を活用し、小学生16団体276人が技術向上と青少年育成を主眼とし、三

問 田川中12、東脊振中9クラブが技術向上と精神的、肉体的に成熟した社会人への育成を主眼とし、吉野ヶ里町体育協会の23競技団体約1100人は、技術向上、健康づくり、仲間づくりを主眼に定期的に練習会場、大会会場とし活動されている。

問 老朽化した、東脊振中体育館とあ

問 東脊振学童保育施設建設計画が出されているが、農村環境改善センター調理室は年間に12回程の利用で、ここを改修し活用できないか。

答 福祉課長 厚労省の「学童保育拡充指針」において、学校敷地内が好ましいとあり、保護者（アンケート）、学校、教育委員会と協議中である。

問 丸山球場、三田川中のナイター施設もなく、中央公園多目的グラウンドをソフトボール4面に拡幅したらどうか。

答 町長 規模的なもので図書館としては無理である。今後、総合庁舎の課題もあり、これ以上改修するのも考えるべきである。

問 町長 温水プールは築31年経過し、大規模改修の時期にあるかと思うがどのように考えているか。

答 社会教育課長 老朽化対策が必要と考えている。補助事業では対応出来ないで管理運営を考えるなかで、財源の調査研究をしていく。



中央公民館



中央公園 多目的グラウンド



立石良雄 議員

「町長」公立、私立の良さを含めて検討する

法改正に伴い保育園のみならず、幼稚園の民営化についての検討は

保育園民営化について

議会と行政が一体となり取り組む体制づくりと、保育園の跡地利用の検討は。

福祉課長 十二月 議会終了後、全協の中で、町の方針、取り組みのなか、仕方の意見をうかがい、跡地利用と場所の絞り込みは、それ以後検討する。

法改正に伴い保育園のみならず幼稚園の民営化についての検討は。

町長 幼稚園も視野に入れる気持ちはあるが、公立の良さ、私立の良さを含めて検討する。

不法建築物について

裁判の進捗状況の報告と、結審後の対応は。

建設課長 一月には判決が出ると予想される。判決が出た段階で次の対応を検討し、議会の意見を聴き先へ進む。

旧道に隣接する農地所有者への説明は。

建設課長 町としての事業が見当たらなかった。この事について解決していない。

町長 不法建築物については今後も法的手段で粛々とやる。

行財政改革について

吉野ヶ里町の財政状況をどの様に捉えているのか。

町長 財源措置は今後、縮小又は終了し、厳しい財政状況になる。

建設計画は財政計画どおり推移するのかが。

町長 新町の建設計画を見直し精査する。

起債に頼らなければ財政運営が成り立たないのか。

町長 合併特例債は、実質的66・5%の補助金と同等で、必要な事業の有利な財源とする。



幼稚園の全景写真



不法建築物と袋小路の全景写真

これからの様に自主財源を確保するのかが。

町長 企業誘致や観光戦略に伴う雇用創出と定住人口による町民税の確保を図る。

葬祭公園について

普通交付税において、合併特例債の元利償還金の70%が基準財政需要額に算入され、交付基準は基準財政

整備等については毎日行われていると確認している。

この状況を見て本当に確認・指導しているのか。

町長 初めこの現状を知った。安全面から見ても適切ではない。駐輪場使用者にも良くルールを守って戴いて、現在のスペースが不足であれば速やかに改善し処置するようとする。

町長はこの現状を見てどう思うか。

町長 初めこの現状を知った。安全面から見ても適切ではない。駐輪場使用者にも良くルールを守って戴いて、現在のスペースが不足であれば速やかに改善し処置するようとする。

本町の活性化は

本町の活性化で今一番必要な事は本町職員の意識改革ではないか。その施策は。

町長 頑張る職員が報われる職場づくりをしていく。職員

勤務評価を考慮する。

今年度の特定防衛施設周辺整備交付金事業（第一種区域）について計画は。

建設課長 3箇所の測量設計委託を実施する。①凸版プラスタック工場北、町道立野工業団地線②不二家工場北側の道路拡幅整備③自衛隊官舎西苔野立野線交差点付近、以上3箇所。

上峰町と本町境（立野地区東側）の水路安全対策工事について現状は。

建設課長 水路が改修する場合、両町で負担するのが一般的な方法と思われる。

水路の断面を大きくする事が必要であり、根本的な水路改修となるものと思われる。近々、上峰町と協議することについて検討する。



古川清春 議員

「町長」すみやかに改善

吉野ヶ里公園駅周辺駐輪場の維持、管理は

吉田商店街内の駐輪場は、町有地か。維持管理は。

町長 町有地である。維持管理については、総務課・建設課・商工観光課で行っている。

収容能力は何台か。また、この現状を見て、歩道及び身体障害者用の点字ブロック上の駐輪をどう思うか。解決策は。

商工観光課長 収容能力は約150台。違法駐輪については撤去する。道路西側住宅跡地に調整中、早期実現に努力する。



吉野ヶ里公園駅南側 駐輪場(吉田商店街)



吉野ヶ里公園駅北側 駐輪場

建設課長 常日頃の監視が必要。

総務課長 現状を見て大変遺憾である。他の空地の有効利用を考え対処しよう。

北側駐輪場の維持管理は。

町長 北側の駐輪場については、指定管理制度でNPO法人に管理を委託している。

町長はこの現状を見てどう思うか。

町長 初めこの現状を知った。安全面から見ても適切ではない。駐輪場使用者にも良くルールを守って戴いて、現在のスペースが不足であれば速やかに改善し処置するようとする。

本町の活性化は

本町の活性化で今一番必要な事は本町職員の意識改革ではないか。その施策は。

町長 頑張る職員が報われる職場づくりをしていく。職員



多良光英 議員

観光行政低迷 行政の怠慢

「町長」観光戦略計画の入口にさえきていない

問 観光行政が低迷している。観光協会の設立が具体的に見えない。どのくらい時間を費やすればできるのか。行政の怠慢ではないか。

答 町長 観光戦略に政として怠慢だと思つ。平成19年に観光戦略計画を策定したが、まだその入口にさえ入っていない。今後はこれを体につける組織化が必要であり観光協会設立を行いたい。情報収集の整備を行う。そのた



閑散としたホール内

問 め新年度予算に反映させたい。観光ガイドの養成も行って、そのための体制づくりも行ってほしい。

答 町長 商工観光課長 既存の施設独自の振興はもちろん、各施設を連携した活用を関係団体と協議しながら推進を図る。



公園から委託のレンタル自転車

問 拠点となる位置付けが必要、場所も含めての考えは。

答 町長 商工観光課長 将来的には吉野ヶ里歴史公園前のふれあい交流広場の活用が考えられる。「まちの駅」を設けることができないか検討。具体的には観光協会立ち上げと並行して検討していく。

問 施設を新たに設けるのは、いかがなものか。玄関口である駅舎コミュニティホールは、観光客や住民の方々が気軽に立ち寄れる最高の施設ではないか。喫茶室、図書などの考えは。

答 町長 商工観光課長 27年4月1日以降コミュニティホールの指定管理者が決定。今後は協議しながらホールの内容を詰めていきたい。

問 利用者が増えればではなく、増えるようにすべきであり、電動アシスト自転車導入も検討すべき。

答 町長 二人乗りの自転車や改造自転車等ユニークな自転車を配置することにより話題を提供することも一つの手ではと考えている。

問 町の観光マップのコースを滞在時間と抱き合わせて作成しては。

答 町長 商工観光課長 町内周遊コースや時間割を表したものではありません。観光関係の団体の皆さんとも十分議論し、作成にあたって検討していく。

意見書

農業の持続的発展等に向けた 農政重要課題に関する意見書

本町農業は、これまで農畜産物の生産振興と国民への安全・安心な農畜産物の安定供給に努めているが、昨今、こうした取り組みを脅かす農政上の重要課題が多数存在している。

一つは、TPP交渉であり、TPP交渉分野は、農業生産はもとより、参加国の諸制度、仕組を変え、食料・くらし・いのちに大きな影響を与え、国民生活を一変させる危険があるにもかかわらず、政府は、秘密保持契約を根拠に交渉内容に関する情報開示を行っていない。政府は、米国の圧力に屈することなく国会決議の実現に向け、不退転の決意をもって粘り強く交渉すること。

二つ目は、水田農業政策

三つ目は、農協改革

農政重要課題に関する意見書

手話言語法制定を求める意見書

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙(ごい)や文法大系をもつ言語である。

手話を使う者にとつて、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として大切に守られてきた。

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身に付け手話で学べ、自由に手話を使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を制定すること。



全議員行政視察研修報告

11月4日から6日の日程で、石川県金沢市、白山市、富山県朝日町にて全議員12人、副町長、事務局1人で「文化体育館」議会報告会を研修した。

金沢市の市総合体育館は昭和60年に開催された全国インターハイを目指した体育館であり、全国大会の使用を考えた施設なので年間の維持管理費が1億6500万円必要、町として大き過ぎる規模であった。

白山市では、議会報告会、松任総合運動体育館を研修した。

市議会では、議会基本条例に基づき平成25年度より議員が地域に向向き、議会報告会を開催。

市議会主催で報告会を実施、参加者がだれもいなかった所もあったので団体や市民からの要望での開催に変更。参加者が増えたというところであった。



富山県朝日町文化体育館

内容は、議会活動に関する報告、報告後に質疑応答、資料は広報広聴委員会が作成、要望は受けない。質問内容によって常任委員会委員、それ以外はリーダーが回答。私見は言わない。

26年度は9回開催され、322人の参加。

富山県朝日町の体育施設は4年度の「朝日町文教ゾーン基本計画」に基づく文教ゾーン整備事業の一部として6年度に文化体育センターが建設された。

施設を有効に利用するため、大学等のスポーツ

合宿の誘致に努めた結果、多方面への経済効果が上がっている。

施設の利用目的により設備内容および管理運営方

総務・文教厚生常任委員会 視察研修報告

総務・文教厚生委員会では、委員6名と事務局1名の計7人で、去る10月23日から24日の日程で、鹿児島県の川内原子力発電所・始良市の体育館等を視察研修した。

川内原子力発電所では、国内最初の再稼働に向けて着々と準備が進められており、セキュリティの万全さ、又、安全

対策については、川内・玄海二ヶ所の原発再稼働に向けての予算が3600億円かかると聞き、原子力規制委員会の新規制基準の厳しさがうかがえた。

始良市の体育館については、平成15年12月〜17

法も大きく変わってくるので、利用目的をしつかり決めて、施設整備を行う必要があると思われる研修だった。

年7月に建設されたもので、総工費約21億円かかっていた。

現時点において、本町では文化センターから路線変更の様相であるが、いずれにせよ消費税や資材の高騰を考えれば、現予算での厳しさを感じた研修だった。



川内原子力発電所視察

編集後記

昨年12月14日に衆議院議員選挙、今年1月11日には知事選挙が執行され、慌ただしい年末年始であった。

吉野ヶ里町の投票率は衆議院選挙で59・13%、知事選挙は53・23%で、18回を数える知事選の歴史で過去最低である。

理由は「年またぎ」選挙、県議と同日選挙でなかった、3連休の中日だったなどが挙げられるが、解散の時期、首長の辞職立候補も今後の大きな課題となる。

民主主義において選挙での一票の行使は、必要不可欠な権利ではなからうか。(正晴)

○議会広報特別委員会

- 委員長 多良 光英
- 副委員長 古川 輝英
- 委員 中島 正晴
- “ 城島 敏行
- “ 伊東 和孝
- “ 古川 清春